

中学校家庭科におけるICT教材を用いた授業実践

小林里美／坂本京子，鄭暁静，高崎禎子，三野たまき，山岸明浩，福田典子

研究概要

学校教育において教員がICTを活用する能力が問われている。そこで近い将来教員になるであろう本学部の学生が、授業実践で必要となる、情報機器を活用する能力を高めるための手立てを試みた。

本研究組織は家庭科を担当する、本学部附属中学校と教育学部の全教員である。その連携のもと「教育実習Ⅱ」を中心とした授業実践でICT教材をどのように活用するかを模索するものである。具体的には実習前に受講する「家庭科教材論」における教材づくりとそれを活用した教育実習での授業実践に着目し、実習生が中学校の授業においてICTを効果的に活用した授業づくりのためのサポートを模索し、これを実践報告にまとめる。

研究目的

ICTを活用した教育の浸透には、教育実習の段階では、教科の指導に関する科目においてICTを活用した教育の導入の必要性が指摘されている。

本研究では、中学校の家庭科におけるICT教材を用いた授業を教育実習生が実践するまでのプロセスを通して、学生のICT活用能力の向上を目指すものである。そのために、教育実習前に実習生が受講する教科の指導に関する科目である「家庭科教材論」等において、担当教員および附属中学校家庭科教員が連携してその指導に取り組む。さらに、実習後に実践授業の評価および振り返りを学部教員と実習生の双方で行い、実習生のICT活用能力の向上のみならず、授業設計をはじめとする教員の資質向上を図ることを目的とする。

計画・方法

研究計画

4月 学部・附属教員合同の研究打ち合わせ（学部教員・附属教員担当）

5月 事前準備

- ・教育実習生のICTに対する自己評価シートづくり（学部教員担当）
- ・事前自己評価の実施（学部教員担当）
- ・「家庭科教材論」におけるICT教材づくりの指導（学部教員担当）

6月 授業実践

- ・指導案の指導（附属教員担当）。
- ・実習指導（附属教員担当）と授業参観・記録（学部教員担当）

7月 事後評価

- ・事後自己評価の実施（学部教員担当）
- ・データの集計，意見交換（学部教員・附属教員担当）

8月～12月 実践報告書のまとめと投稿（学部教員・附属教員担当）

1月～3月 学会発表の準備・発表登録（学部教員・附属教員担当）

5月 学会発表（学部教員・附属教員担当）

研究方法

①教育実習生のICTに関する意識調査

ICTを取り入れた授業実践に関する実習生の意識調査を、自己評価シートを用いて実施する。これによって、教育実習時にICTを活用するための実習生の強みと弱みの自覚を促す。

②「家庭科教材論」における試み

学部の「家庭科教材論」において、ICTを用いた教材づくりの可能性を検討させ、活用可能な教材までに磨き上げさせる。その後、それを活用した模擬授業を実施する。

③中学校の授業における指導案と授業実践の指導

実習生が大学で作成した教材を用いた授業をするために必要な使用可能機材を把握し準備した教材を見直し、当該生徒に合わせた教材に再構築を促す。また、授業実施にあたり、機材のセッティング等を自ら体験させる。

住生活領域の授業…附属松本中学校，1～2学年，消費生活領域の授業…附属長野中学校，1～2学年

食生活領域の授業…附属松本・長野中学校，1～2学年，衣生活領域の授業…附属松本中学校，1～2学年

④実践授業の評価と記録

実習生の授業実践を学部教員と実習生の双方で評価する。また、実習生には事後評価をさせる。

⑤振り返り

実習生の事前・事後評価を元に、家庭科教材論と教育実習での改善点を洗い出す。